

目 次

はしがき v

第1部 条 件 文

第1章 条件文の構成と条件節

..... 2

- 1.1. 条件文の構成 2
- 1.2. 条件文と事実性 3
- 1.3. 条件節の種類 4
 - 1.3.1. Onions and Miller (1971) による条件節の分類 5
 - 1.3.2. Hornby (1956) による条件節の分類 6
 - 1.3.3. Quirk et al. (1985) による条件節の分類 6
 - 1.3.4. Declerck (1991) による条件節の分類 8

第2章 条件文・条件節の概要

..... 11

- 2.1. 条件節の時制と帰結節の叙法 11
- 2.2. 条件節を導く語句 13
 - 2.2.1. as long as 14
 - 2.2.2. assuming (that) 15

- 2.2.3. given that 15
- 2.2.4. granted (that)/granting (that) 16
- 2.2.5. if only/only if 16
- 2.2.6. imagine 18
- 2.2.7. on (the) condition that 19
- 2.2.8. once 20
- 2.2.9. provided/providing 20
- 2.2.10. say 21
- 2.2.11. supposing/suppose 22
- 2.2.12. 〈命令法+and [or]〉, 〈名詞句+and〉など 24

第3章 閉鎖条件 (closed condition)

..... 27

- 3.1. [過去]+{過去} 28
- 3.2. [過去]+{現在} 29
- 3.3. [過去]+{未来} 29
- 3.4. [現在]+{過去} 30
- 3.5. [現在]+{現在} 30
- 3.6. [現在]+{未来} 32
- 3.7. [現在(完了)]+{現在・未来} 33

3.8. [未来]+{現在} 34

第4章 開放条件 (open condition)

..... 35

- 4.1. 叙実法による場合 36
- 4.1.1. [現在]+{現在} 37
- 4.1.2. [未来]+{未来} 37
- 4.1.3. [未来]+{現在} 40
- 4.1.4. unless の場合 41
- 4.2. 仮定法による場合 43
- 4.2.1. 原形仮定法を用いて 43
- 4.2.2. 過去仮定法を用いて 44
- 4.2.3. 過去完了仮定法を用いて 45

第5章 却下条件 (rejected condition)

..... 47

- 5.1. 過去仮定法 47
- 5.2. 過去完了仮定法 49
- 5.3. 仮想条件 50

第6章 間接条件

..... 53

- 6.1. 非因果条件 53
- 6.2. 修辞条件 55
- 6.3. 疑似条件 57

第7章 条件表現に関連する 諸事項

..... 59

- 7.1. 条件節の中の法助動詞 59
- 7.2. if を省略した条件節の倒置表現 62
- 7.3. 独立節としての if 節 / suppose 節 64
- 7.4. 条件文の音調 65
- 7.4.1. 上昇調：if 節の音調の原則 65
- 7.4.2. 上昇調と下降調の意味の違い 66
- 7.4.3. 下降上昇調による暗示的な意味 67

第II部 仮定法の概観

第8章 法と仮定法

..... 70

- 8.1. mood/modal/modality 70
- 8.2. modality を表す表現手段 74
- 8.3. 仮定法の行く末 75

第9章 仮定法の種類と呼称

..... 79

- 9.1. 古風な仮定法 80
- 9.2. 仮定法の種類と呼称について

9.3. 帰結節 86

第10章 仮定法を用いた
条件文の形式

..... 89

10.1. 原形仮定法 90

10.2. 過去仮定法 90

10.3. 過去完了仮定法 92

第III部
仮定法各論第11章 仮定法3種の
用法詳説

..... 96

11.1. 原形仮定法 96

11.1.1. ① 命令・要求・主張・
提案・妥当などを表す動詞・
名詞・形容詞の後に続く that
節で 97

11.1.2. ② 祈願文 100

11.1.3. ③ 譲歩・目的などを表
す副詞節の中で 10111.1.4. ④ 条件を表す if 節で
102

11.1.5. ⑤ 慣用表現 104

11.2. 過去仮定法 105

11.2.1. 過去時を表す過去仮定法
10511.2.2. 現在の事実に反すること
の仮定 10711.2.3. 現在または未来の実現度
がかなり低い事柄の仮定 10911.2.4. If ... should/If ... were
to 111

11.2.5. 慣用句 115

11.3. 過去完了仮定法 116

11.3.1. [過去]+{過去} 116

11.3.2. [過去]+{現在} 119

11.3.3. [過去]+{未来} 120

11.3.4. [現在]+{未来} 123

11.3.5. [未来]+{未来} 123

第12章 照応のずれ

..... 125

12.1. ① [IF 過去完了仮定法]+{過
去仮定法} 12512.2. ② [IF 過去仮定法]+{過去
完了仮定法} 12812.2.1. 条件節の過去仮定法が過
去完了仮定法の代替表現と思
われる例 12812.2.2. 帰結節の過去完了仮定法
が文脈に応じて現在時を表す
例 130

12.3. 想像の過去完了 131

12.4. 仮定法と叙実法の混在 132

12.5. 同一の形式をとる主節の VP
に照応する条件節／従節の諸種
の動詞形 134

第13章 仮定法を誘起する

I wish/as if/It's time

..... 137

13.1. I wish と共起する仮定法

137

13.1.1. S_1 wish(ed) [S_2 +仮定法] において $S_1=S_2$ の場合

138

13.1.2. S_1 wish(ed) [S_2 +仮定法] において $S_1 \neq S_2$ の場合

141

13.1.3. その他の願望表現 144

13.2. as if 節と仮定法 145

13.2.1. as if 節が表す「時」と主節の「時」との関係 145

13.2.2. as if 節で容認される叙実法 148

13.2.3. as if 節と共起する法助動詞の種類 149

13.2.4. as if 節と同等比較表現

150

13.3. It's time と仮定法 151

13.4. than if 節と仮定法 152

第14章 潜在条件

(implicit condition)

..... 154

14.1. PP [前置詞句] / 副詞(句)

154

14.2. 準動詞 156

14.2.1. to 不定詞・動名詞 156

14.2.2. 現在分詞・過去分詞

157

14.3. 修飾語付き名詞句 157

14.4. 文脈の背後に 159

第15章 単独で用いられる
迂言仮定法

..... 162

15.1. 心的態度を表す迂言仮定法

162

15.2. 従節の中で用いられる迂言仮定法 169

第16章 仮定法と時制の一致

..... 171

16.1. 原形仮定法が用いられている場合 171

16.2. 仮定法を誘起する表現の場合 173

16.3. 仮定法条件文の間接話法

174

16.4. 話者の意識が選択する叙法と時制 176

補遺

..... 179

1. 確認的断言の意味を表す完了形

179

2. 法 (mood) について 182

3. 法助動詞の現在形は仮定法か?

183

- | | | | |
|------------------|-----|----------------|-----|
| 4. 仮定法の使用に見られる混乱 | 184 | 6.1. 過去時制によって | 188 |
| | | 6.2. 進行形によって | 189 |
| 5. 規範文法の功罪 | 185 | 7. 非実現を表す完了不定詞 | 190 |
| 6. 仮定法によらない丁寧表現 | 188 | | |

引用・参考文献 193

索引 199